

— 第25回通常総会議事録 —

NPO 法人日本森林ボランティア協会

日時：2025年5月12日（月） 19:00～20:20

場所：大阪産業創造館 5F 研修室 E

進行：瀧上芳孝理事

議長：清水宏志理事、山本博理事

書記：大北昌彦理事、前田昌利理事

1. 開会あいさつ：

山崎春人理事長より、協会創立 28 年を迎えたこと、森を通じて社会をつなげる活動の重要性について挨拶があった。

2. 総会成立宣言：

川田事務局長より、本総会の成立が宣言された。（出席者 30 名、委任状提出者 68 名、計 98 名の出席、成立要件：正会員総数 161 名の 1/5（33 名）以上）

3. 議長選出：

本総会の議長として清水理事および山本理事の 2 名を選出した。

本総会の書記として大北氏と前田理事び 2 名を選任した。

本総会の議事録署名人として清水理事と山本理事の 2 名を選出した

4. 議事（各議案の詳細については添付資料「総会資料」を参照のこと）

第 1 号議案（2024 年度事業報告承認の件）

・議案説明： 川田事務局長

・質疑等：

三木氏：定例以外の活動地の項目に「どんづるぼうの森」での作業が記載されていない。（2024 年 2 月実施）

川田氏：記載漏れ。修正する。

清水氏：活動地の世話人変更について教えてほしい。

川田氏：金剛山＝三栖氏→要（かなめ）氏、村屋神社＝三栖氏・矢野氏→矢野氏、葛城御歳神社は活動終了。

・採決： 全会一致により承認された。

第 2 号議案（2024 年度収支決算承認の件、及び監査報告）

・議案説明： 川田事務局長

・監査報告： 杉本哲朗監事

・質疑等： 特になし

・採決： 全会一致により承認された。

第 3 号議案（2025 年度事業計画、及び収支予算承認の件）

・議案説明： 川田事務局長

・質疑等：

平田氏：森林大学とボランティア活動の位置づけはどうなっているのか？会員獲得の窓口として森林大学の割合が大きいのではないか。森林大学の修了者だけでは、受講生はリタイアした高齢者が多く定年延長の影響もあり会員の高齢化が避けられない。ボランティア活動に若い人の参加を求めるなら、若者向けの施策が必要だと思う。また、活躍しているメンバー

が固定化（高齢化）し依存しているように感じる。

川田氏：正確な数字は確認していないが、新規会員の半分は森林大学修了者。ただ会員募集は随時やっているし森林大学受講生は定年を迎えたから何かやってみようという人ばかりではない。

清水氏：確かに協会全体の高齢化は問題であり事務局も取り組んでいる。1号議案で説明した植物観察会等いくつか新しいイベントも実施しており、新しい人にも興味を持ってもらいたいという目的で実施している。各活動地でも、地域の方や飛び込みで参加して活動メンバーになっている場合もある。初めて来られた方には2年前からアンケートも実施している。

平田氏：若者向けにボランティア体験の場を作り、様々なボランティア活動を紹介・参加者募集している窓口にはアピールしてはどうか。

川田氏：高校の授業で活動を紹介したり、現在も大学の関係者から学生に森林ボランティアを体験させたいと申し入れがあり、どういう形にする相談している。ボランティア活動への参加が大学の履修単位になるという理由で大学生の参加が増えた時期もあるが最近は減っている。紙のチラシを配布するよりも、SNSやインターネットによる募集が効果的だと考えており、Instagramの活用等広報刷新などを通じて若者にも届く取り組みを進めていく。

山田氏：学生にとって進学・就職に繋がるボランティア体験は有益。高校入試や就職活動の面接でのアピールに使えるという動機で学校関係の窓口を通じて活動参加を呼びかけるのも効果があると思う。

山崎理事長：過去に呼子を使って高校生を集めるイベントも実施したが頓挫した。協会のボランティア活動と森林大学は同時に始まり、会員獲得の核になっているのは事実。これからは森林大学は黒字化しつつ大切にしていく。一般の人を拒否しているわけではないが参加が伸びないというのが現状。

- ・採決： 全会一致により承認された。

第4号議案（役員改選の件）

- ・議案説明：川田事務局長

久保理事が退任、平田直毅氏、大北昌彦氏、川田が新たに理事に就任する。

- ・質疑等：

久保英男理事が退任の説明。

新任理事として平田直毅氏、大北昌彦氏、川田隆昭氏があいさつ。

- ・採決： 全会一致により承認された。

第5号議案（追加議案、定款変更の件）

- ・議案説明： 川田事務局長

定款上の事務所所在地を「大阪市北区茶屋町2番30号」から「大阪市内」に変更する。移転は確定しており、それに伴う登記変更に必要な臨時総会などの事務を軽減するため。

- ・採決： 全会一致により承認された。

5. 閉会

以上をもって議事を終了し、総会は20時20分に閉会した。

山本 博

清水 宏 志

添付資料「総会資料」

第25回通常総会

総 会 資 料

第1号議案	2024年度事業報告	・・・・・・・・・2 p
第2号議案	2024年度収支決算及び監査報告	・・・・・・・・・10 p
第3号議案	2025年度事業計画及び収支予算	・・・・・・・・・15 p
第4号議案	役員改選	・・・・・・・・・19 p
第5号議案（追加）	定款の変更	・・・・・・・・・別紙

特定非営利活動法人 日本森林ボランティア協会

I 事業期間

2024年4月1日～2025年3月31日

II 事業の成果

定例活動はコロナ以前の状態に戻った。参加者総数は1500人を超え前年度を上回った。企業CSRは新規の相談が相次いだ。他団体との協業、受託事業も増えた。団体として次のステップへ進む時期と考え、少しずつ新たな取り組みを加え、2027年の創設30年へ向け、準備を進めた。

ボランティア指導者養成の森林大学は、講師・スタッフの世代交代を進めた。8月の安全講習（習熟コース）は台風の影響で中止したが、協会の講習がボランティア保険加盟団体の安全対策に貢献できるよう事業展開の見直しを考え、準備した。

広報対応も整理する必要がある、希望しない会員には機関紙などの郵送を廃止。Instagramの公式ページを開設した。ホームページの刷新も具体的な計画策定に着手した。

事務局を置く大阪聖パウロ教会が2025年末で閉鎖になることが決まり、移転費用を予備費として計上。準備を進めた。

各種事業に理事が参加する分担制度を話し合い、主催イベント開催、勉強会の実施など森林ボランティアを知ってもらい普及事業で一定の成果があった。

III 事業の実施状況**特定非営利活動に係る事業（定款 第5条）****1. 森林ボランティア養成事業****(1) 呼子セミナー**

春の呼子森林セミナー 4月27～29日 7名参加 枯損木伐採、自然観察、山菜採集など
秋の呼子森林セミナー 10月12～14日 6名参加 人工林見回り、枯損木整理、キノコ観察など

*どちらも鳥取県日南町のYMCA呼子高原センターで実施

2. 森林ボランティア普及事業

- (1) 伐倒からの薪づくり体験 11月30日、地黄湿地で実施。3グループ7名参加
若い人に森林ボランティアを知ってもらおうと理事会で企画した協会主催イベント
- (2) 見に行こう会自然観察会 9月16日、大阪公立大植物園。一般含め26名参加
会員を中心に森林ボランティアを考える見学会・勉強会の理事企画1回目。
自然観察ガイドを大阪森林インストラクター会に依頼した。

3. 森林ボランティア指導者養成事業

- (1) 森林ボランティア養成講座「森林大学」第38期 4月10日～10月9日
13人が修了。既にいろんなところで活躍中の方も多く、協会の活動を広げる一助となった。講座は「生物多様性」など新しいテーマを取り入れ、講師も少し入れ替えた。金剛山活動地のオーナ

一道田憲逸氏の特別講座「林業の現場から」は、受講生に大好評だった。講座12回、宿泊日程2回を含む実習6回を実施。リモート受講も引き続き取り入れ、仕事などで会場へ来られない受講生が利用。

* 講座は大阪産業創造館、実習は生駒山、能勢町、箕面国有林、産創館、金剛山、丹波篠山市

4. 森林の保全と育林事業

定例活動地

(1) 箕面国有林(世話人 洲上芳孝 安原正美)

9月、10月、1月は東海自然歩道沿いの人工林間伐・樹間整備活動を行った。それ以外の月は、エキスポの森にある「箕面体験学習の森」の整備計画に沿って、展望台周辺の笹刈りや除伐作業を行った。11月の活動時は、東京の団体の依頼で森林体験イベントを受け入れた。

4月14日21名	5月12日15名	6月9日10名	7月14日9名
9月8日7名	10月13日10名	11月10日56名	12月8日9名
1月12日10名	2月9日雪で中止	3月9日16名	合計163名

(2) 金剛山(世話人 三栖 眞壽美)

五條林道の間伐作業は9月の森林大学実習、12月14日の忘年間伐含め8回行った。25年度は実習をした坊主山の間伐作業になる。遅れている妙見谷の枝打ちは11、1、2月の3回実施、進捗率は70～80%になった。次年度も11～2月は妙見谷の枝打ちを進める。春の家でやってきた散策道などのササ刈りは道の崩壊などもあり終了。

4月20日4名	5月18日9名	6月15日10名	7月20日9名
9月21日7名	10月19日雨で中止	11月16日3名	12月14日15名
12月21日雨で中止	1月18日8名	2月15日6名	3月15日6名
			合計77名

(3) 能勢の森(世話人 川田隆昭)

大阪みどりのトラスト協会と協働する地黄湿地保全活動は4年目に入り、湿地周辺の支障木処理、影を落とす人工林の除伐に加え、湿地全体を囲む大規模な防鹿柵の設置作業をした。これまで伐採したスギ、ヒノキを出材していた能勢町の木の駅事業がなくなり、木道の補修用に製材したり、薪割りイベントに使ったが、大半はそのままになっており活用方法の開拓が課題。数年前に間伐作業をした野間大原地区の依頼で、里山林整備もスタート。また東能勢小学校に隣接する竹林の整備も依頼があり、定例活動と別に3回実施した。もう少し作業が必要で25年度も不定期で続ける。地黄湿地＝第4土曜、野間大原＝第1土曜

4月6日11名	4月27日10名	5月4日10名	5月25日6名
6月1日8名	6月11日6名	6月22日4名	6月29日10名
7月6日8名	7月27日12名	9月7日8名	9月28日10名
10月5日8名	10月26日13名	11月2日中止	11月4日5名
11月23日11名	12月7日4名	12月28日10名	1月4日9名
1月25日8名	2月1日10名	2月22日8名	3月1日8名
3月22日10名	合計207名		

(4) 和歌山県九度山(世話人 西岡 崇)

本年度は月 1 回の活動を行った。九度山町内及び橋本市内の個人所有の山林の支障木伐採、人工林間伐、九度山町内の学校での剪定作業及び支障木伐採等をした。

4月13日 9名	5月11日 6名	6月 8日 8名	7月13日雨で中止
9月14日10名	10月14日10名	11月 9日 5名	11月30日12名
1月13日11名	2月11日11名	3月 8日 8名	合計90名

(5) 吉川の里(世話人 大嶋通弘)

事故なく里山の整備活動ができた。農地、里山の竹林、雑木林、人工林とおもむきの異なる4カ所をそれぞれ整備することは難しく、予定を組んで少しずつ進めていくが、思わぬ悪天候で倒木、枯損木の処理追に追われることが増えた。物置小屋の造作も進んでいない。ニホンミツバチの越冬といううれしいニュースもあったが、悪天候で農作物の出来は良くなかった。土作りの必要性を改めて痛感している。25年度も引き続き事故のない森林整備と四季折々の里山を楽しめるボランティア活動にしたい。

4月 7日12名	4月21日10名	5月 5日10名	5月19日 8名
6月 2日 9名	6月16日 8名	7月 7日12名	7月21日 9名
8月 4日 9名	9月 1日台風で中止	9月15日10名	10月 6日12名
10月20日11名	11月 3日 7名	11月17日11名	12月 1日14名
12月22日11名	1月 5日12名	1月10日10名	2月 2日11名
2月16日10名	3月 2日 10名	3月16日 雨で中止	
合計 216名			

(6) 高槻美女山(世話人 江口龍男)

年間を通して「森林・山村多面的機能発揮対策事業」2年目に取り組んだ。ササ・支障木を除去して森を明るくし景観を良くする。10月は阿武野高校生のボランティア体験学習を受け入れた。12月に大阪府衛生会から長年にわたる森林整備活動に「感謝状」をいただき、施設の子どもたちと交流の時間を持った。

4月25日 7名	4月28日16名	5月23日 6名	5月26日12名
6月23日雨で中止	7月28日15名	8月25日 9名	9月22日雨で中止
10月27日15名	11月24日13名	11月28日 6名	12月22日19名
1月23日 5名	1月26日11名	2月23日18名	2月27日 5名
3月23日18名	3月27日 5名	合計 180名	

(7) 篠山丸山(世話人 清水宏志)

昨年度に続き主に C 地区の間伐と A 地区から木の駅への間伐材搬出を行い、黒豆収穫などの季節を楽しむイベントも実施した。今年度の総参加人数は昨年度よりも増えたが、1 回あたりの参加人数は減少傾向にあり、今後の課題と言える。C 地区の間伐率が目標の 2.5% に近付き、2025 年度中に正確な密度調査をした上で C 地区間伐を一旦完了させる計画。集落側から今後も人工林の整備を進めてほしいと要望され、次の候補地 (F 地区、これまでと同林齢のスギ・ヒノキ人工林) も提案された。森林調査をし、整備計画を作成して作業を開始する予定。

4月13日 9名	5月11日13名	6月 8日12名	7月13日11名
9月14日 9名	10月12日15名	11月 9日 4名	12月 8日 8名

1、2月積雪で中止 3月 8日 12名

合計93名

(8) 葛木御歳神社(世話人 三栖眞壽美)

2014年に始まった葛木御歳神社の活動は、25年3月をもって当初目的の間伐作業を終了した。11年6カ月、99回の活動、のべ1239名の参加をいただき無事故で終了した。次年度は神社側の要請があれば参拝路の整備、薪の調達などを不定期で行う。

4月21日雨で中止 5月19日 7名 6月16日 8名 7月21日 5名
9月15日 4名 10月20日11名 11月17日 7名 12月22日 4名
1月19日 8名 2月16日10名 3月16日雨で中止 合計64名

(9) 村屋神社(世話人 三栖眞壽美、矢野学)

境内の雑木整理と、神社側から要請があった周辺私有地の竹林整備を続けた。

4月13日 7名 5月11日 7名 6月 8日 7名 7月13日雨で中止
9月14日 7名 10月12日 4名 11月 9日 5名 12月 7日 8名
1月11日 8名 2月 8日 9名 3月 8日10名 合計70名

(10) 南山城村(世話人 新藤守一)

南山城自然村の会と共催で、人工林間伐、竹林整備に加え間伐材の活用(竹細工など)も始めた。

4月 7日11名 4月19日 8名 5月12日13名 5月24日11名
6月 2日 9 6月21日 8名 9月 1日雨で中止 9月20日10名
10月 6日 7名 10月18日11名 11月 3日11 11月15日 6名
12月 1日10名 12月20日10名 1月12日 7名 1月24日 7名
2月 2日 5名 2月21日 9名 3月 2日雪で中止 3月21日 9名
合計 162名

(11) いずみの森(世話人 中室昇治、戸田幸司)

今年度も泉佐野市の稲倉池周辺で里山環境の保全をした。4月から6月は集合広場やC地区で草刈り、道側に傾いた木の除去など、9月10月は野外活動センター内で散策道周辺の整理伐など、11月12月は救急法講習と大きくなったコナラや枯れたコナラの伐倒とホダ木づくり、1月から3月は椎茸の植菌と小富士山登山道の補修などをした。

4月11日11名 4月18日13名 5月 9日12名 5月16日 8名
6月13日10名 6月20日11名 9月12日10名 9月19日 9名
10月10日13名 10月17日10名 11月14日15名 11月21日10名
12月12日16名 12月19日 7名 1月 9日14名 1月16日13名
2月13日10名 2月20日 9名 3月13日11名 3月20日10名
合計222名

(12) 家具工房の森づくり(世話人 川田隆昭)

兵庫県三木市吉川町の家具工房が取得した放置竹林と里山を整備し、家具用材の植林と近隣の方の憩いの場を目指す活動は2年目。家具工房の協力で申請した林野庁の森林・山村多面

的機能発揮対策事業を活用し無煙炭化器を購入。伐採竹で竹炭焼きがスタートした。12月に第1回植樹にこぎつけヤマザクラ、ケヤキ、イロハモミジの3種計70本の苗木を植え付けた。新年度は年末までに竹林伐採を仕上げ、300本程度の植樹を計画。活動地の変化はドローン映像で記録し、ホームページでアップした。

4月20日15名	5月18日13名	6月15日10名	9月21日19名
10月19日雨で中止	11月16日9名	12月21日18名	1月18日18名
2月15日15名	3月16日9名	合計	126名

*7、8月は休み

定例以外の活動地

(1) キャンプおおさか(世話人 杉山耕二、山本博)

日本ボーイスカウト大阪連盟所有野営場「キャンプおおさか」 所在地：大阪府枚方市穂谷
毎月第一土曜日に定例活動を行ってきたが、ほぼ完了。新年度から年4回程度の活動になる。

4月 6日11名 7月 6日50名 合計61名

(2) どんづるぼう(世話人 矢野学、山本博、三木栄三)

奈良県香芝市のどんづるぼう(屯鶴峯)で2月17、20日にハイキング道沿いのナラ枯れ木処理。協会員が主催する地元団体の支援依頼。14人が参加し枯損木105本を処理した。

5. 安全対策委員会

協会の委員会組織として安全講習会を企画・実施した。夏の習熟コースは他団体へも参加を呼びかけたが、台風で中止になった。活動地ごとの基礎コースは必ず年1回実施を呼びかけ、事故事例から安全対策を深める勉強会を初めて開いた。

他団体と連携した森づくり技能技術推進地方協議会を通じ、チェーンソーや刈り払い機の講習も開いた。委員長は、久保委員から辞任の申し出があり山本委員に交代した

(1) 協会の安全講習会

①習熟コース 8月27日～28日に予定したが台風で中止

能勢町のユースホステル玉泉寺で危険予知トレーニング、地黄湿地の人工林で実習の計画。
他団体からも参加申し込みがあった。

②現場の救急法 11月14日

いずみの森の定例活動に合わせ実施。16人参加。

③基礎コース

活動地の実態に即した内容で少なくとも年1回、基本技術を確認。25年度から活動予定に盛り込むことを申し合わせた。

(2) 事故事例勉強会

久保委員の発案で5月3日実施。連休中だったが18人が参加し、過去の事故事例に沿って問題点を検討、対策・課題を考えた。伐木技術を中心に、会員が習得してほしいポイントを、どう教え、どう覚えるか議論しながらスキルアップを目指す内容。今後も続けていきたい。

(3) 定例の話し合い

事務局の問題を話し合う毎月定例の打合せと安全対策委員会をセットにし、安全対策の課題を議論した。

6. その他活動

- (1) 活動地世話人会 1月27日。体調不良の1人を除き全員参加。安全対策委員会も開催
- (2) 定例打合せ会 毎月1回、午後6時半からリモート会議併用で実施
- (3) 機関紙・ホームページ部会 リモート会議中心に随時開催

7. 情報提供事業

- (1) 4月、7月、10月、1月に機関紙「森と人の会便り」を発行した。(印刷部数400部)
- (2) ホームページに活動報告を掲載した。
- (3) SNSで活動報告を掲載。フェイスブックに続き、2月に公式Instagramページも開設、インスタ投稿で両方にアップ出来るようになった。投稿のマニュアルを作成し、活動地世話人に配布。森林大学39期の募集で広告も出した。

8. 協力支援事業

新たに14団体が、森林ボランティア保険登録団体になった。

1. 森の世話人活動支援事務局	大阪市	4月
2. やどりき水源林づくり21	横浜市	6月
3. 広松園有限会社	大阪府柏原市	6月
4. 柏崎市立半田小学校	新潟県柏崎市	7月
5. 森の学校	京都府南丹市	8月
6. りゅうもん森林保全活性化の会	奈良県吉野町	8月
7. 里山のいぶき	堺市	8月
8. NPO法人大月地域資源活用協議会	高知県大月町	10月
9. フォレスターうじ	京都府宇治市	10月
10. 「龍谷の森」里山保全の会	大津市	11月
11. 獅子ヶ池GBチーム	神戸市	12月
12. 薪遊人	長野県飯島町	1月
13. 五月山グリーンエコー	大阪府池田市	2月
14. 森の実験室	滋賀県高島町	2月*

*年度内の登録料振り込みは13団体

9. 受託事業

次のとおり業務を受託した。

受託事業(非営利)		受託収入
大阪みどりのトラスト協会	前年度分(地黄森林管理)	396,000
とどろみの森クラブ	刈払い機講習修了証発行手数料	38,000
里山倶楽部	刈払い機講習修了証発行手数料	34,000
能勢町上畑山林	森林整備	290,000
大阪みどりのトラスト協会	さとりチェーンソー講習受託	137,104
大阪みどりのトラスト協会	里山デイキャンプ指導者派遣	40,000
葛木御歳神社	境内支障木伐採	26,400
六甲山ブナを植える会	草刈り作業	26,400

大和ハウス	CSR植樹・下刈り指導 3回	115,500
大阪府森林組合	CSR 植樹指導	24,000
大阪みどりのトラスト協会	CSR 伐木体験指導	33,000
大阪みどりのトラスト協会	アドプト事業・森林整備	325,600
天満神社	境内支障木伐採	290,400
日本環境教育	CSR森林体験指導	61,600
大阪森安チェーンソー講習	チェーンソー講習	391,000
能勢町みつはの里	栗園伐採作業	211,200
大阪みどりのトラスト協会	CSRドコモ堀河の森活動指導	26,400
シェアウッズ	伐採とグループ立ち上げ支援	124,410
東お多福山	草刈り作業	37,000
村屋神社	支障木伐採	242,000
丹波市国領受託事業	森林整備	300,000
森林管理局	検討委員派遣	8,460

10. 森づくり支援に対する寄付

団体、個人から合計550,268円の寄付をいただいた。

主な寄付者は次の通り（10万円以上）

1. 松下洋一さん
2. 大阪商工信用金庫
3. ボーイスカウト大阪連盟

IV 会員総会の開催状況

第24回通常総会

日時：2024年5月15日（水）

場所：大阪産業創造館

出席：28名（委任状提出76名）

- 議案：1. 2023年度事業報告について
2. 2023年度収支決算について
3. 2024年度事業計画及び収支予算について
4. 役員改選について
5. その他

V 理事会の開催状況

1. 第53回理事会

日時：2024年4月15日（水）

場所：協会事務所

出席：11名、幹事1、事務局1

- 議案：1. 2022年度事業報告について
2. 2022年度収支決算について
3. 2023年度事業計画及び収支予算について
4. 第22回通常総会について
5. 任期満了に伴う役員改選について
6. その他

2. 第54回理事会

日時：2024年5月7日（火）

場所：協会事務所

出席：11名、事務局1

- 議案：1. 中長期計画と事業の担当理事について
2. 第24回通常総会の議事について
3. その他

3. 第55回理事会

日時：2024年7月30日（火）

場所：協会事務所

出席：9名、委任状2、事務局1

- 議案：1. 担当理事事業の進行状況について
2. 情報公開について

4. 第56回理事会

日時：2024年10月16日（水）

場所：協会事務所

出席：10名、委任状3、幹事1、事務局1

- 議案：1. 2024年度上半期事業報告及び会計報告について
2. 次年度計画について
3. その他

5. 第57回理事会

日時：2025年1月22日（水）

場所：協会事務局

出席：10名、事務局1

- 議案：1. 担当理事事業について
2. 理事の退任、交代について
3. その他

2024年度特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

2025年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本森林ボランティア協会

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差引予算額	備 考
I. 事業活動収入				
1 会費収入	1,050,000	912,500	137,500	
正会員	750,000	616,500	133,500	
賛助会員	300,000	296,000	4,000	
2 事業収入	3,210,000	4,132,896	▲ 922,896	
ボランティア養成	250,000	172,600	77,400	
指導者養成	800,000	744,400	55,600	38期森林大学
森林保全	30,000	10,000	20,000	活動参加費
協力支援	30,000	26,000	4,000	2000円 13 団体
受託事業	2,100,000	3,178,474	▲ 1,078,474	
木材販売	0	1,422	▲ 1,422	
3 助成金収入				
助成金	0	50,000	▲ 50,000	
4 補助金収入	0	0	0	
5 寄付金収入	600,000	550,268	49,732	
6 雑収入	1,000	1,756	▲ 756	
雑 入	0	0	0	
受取利息	1,000	1,756	▲ 756	
当期収入合計A	4,861,000	5,647,420	▲ 786,420	
前期繰越収入	3,974,863	3,974,863	0	
収入合計B	8,835,863	9,622,283	▲ 786,420	
II 事業活動支出				
1 事業費	2,470,000	3,245,316	▲ 775,316	
ボランティア養成	200,000	128,257	71,743	
指導者養成	800,000	930,830	▲ 130,830	
保全・育林	150,000	5,280	144,720	

情報提供	10,000	0	10,000
協力支援	10,000	0	10,000
受託事業	1,300,000	2,180,949	▲ 880,949
2 管理費	2,662,000	2,445,488	216,512
給与	0	0	0
法定福利費	0	0	0
旅費交通費	500,000	464,260	35,740
通信運搬費	300,000	326,960	▲ 26,960
荷造運賃	0	0	0
什器備品費	100,000	0	100,000
消耗品費	200,000	138,161	61,839
新聞図書費	0		0
印刷費	150,000	150,059	▲ 59
地代家賃	1,062,000	1,062,600	▲ 600
保険料	120,000	121,454	▲ 1,454
租税公課	80,000	70,000	10,000
支払手数料	60,000	61,794	▲ 1,794
賃借料	40,000	20,200	19,800
雑費	50,000	30,000	20,000
3 予備費	500,000	0	500,000
当期支出合計C	5,632,000	5,690,804	▲ 58,804
当期収支差額 A－C	▲ 771,000	▲ 43,384	▲ 727,616
次期繰越収支差額B－C	3,203,863	3,931,479	▲ 727,616

2024年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録

2025年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本森林ボランティア協会（単位：円）

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	190,415		
普通預金 三井住友銀行南森町支店	2,140,066		
郵便貯金	4,030,601		
未収金	0		
仮払金	0		
流動資産合計		6,361,082	
2 固定資産			
機械及び装置	3		
車両運搬具	0		
工具機具備品費	0		
敷金	200,000		
電話加入権	29,980		
固定資産合計		229,983	
資産合計			6,591,065
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0		
森林大学受講料	288,000		
預り金(保険料)	2,141,603		
所得税	0		
流動負債合計		2,429,603	
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	
負債合計			2,429,603
正味財産			4,161,462

2024年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

2025年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本森林ボランティア協会（単位：円）

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	6,361,082		
未収金	0		
仮払金	0		
流動資産合計		6,361,082	
2 固定資産			
機械及び装置	3		
車両運搬具	0		
工具機具備品費	0		
敷金	200,000		
電話加入権	29,980		
固定資産合計		229,983	
資産合計			6,591,065
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	2,429,603		
仮受金	0		
未払金	0		
流動負債合計		2,429,603	
2 固定負債	0		
長期借入金		0	
固定負債合計			2,429,603
負債合計			4,161,462
正味財産			

監 査 報 告 書

私は、2024年度監事として、4月11日に特定非営利活動法人日本森林ボランティア協会の定款第14条第5項の規定に則り、2024年4月1日より2025年3月31日までの事業年度に係る当協会の業務執行及び会計の状況に関する監査を行った。

事業報告書、収支計算書、貸借対照表を精査した結果、事業については計画に基づいて着実に実行されており、また、経理状況、財産運用及び使途については、いずれも適正であると認め、茲に報告する。

2025年4月11日

特定非営利活動法人日本森林ボランティア協会

2024年度監事

杉本哲朗
渡辺 行



2025年度事業計画（案）

基本方針

新型コロナ感染の収束で、森林へ行ってみたい、森づくりに関わってみたいという市民の関心が高まっている。大阪・関西万博もあり、外国から来られた方が日本の森を見てみたいという動きも出てきそう。森林保全やSDGS、生物多様性などの目標を掲げ、協会の活動をアピールできる広報活動、人材養成を目指す。

2027年10月の設立30年へ向け活動の方向性、組織態勢づくりや人材育成、財政基盤などの考え方を整理し、3～5年先を視野に入れた中長期計画の作成に取り組む。人材を育成する森林大学のカリキュラムや運営の刷新を最重要課題とし、有償職員の雇用、ホームページを中心とした広報アイテムを刷新、新しいロゴも作成する。この予算として予備費に50万円を計上する。

30周年の記念事業などは準備委員会をつくり検討を始める。

定例の森林保全活動や受託作業は、安全を第一に考え、会全体のリスク管理、会員一人一人の安全意識向上に取り組む。

森林ボランティア団体の協力支援を主眼として取り組んできたボランティア保険事業は、過去の事故に対する保険支払いが過大となり、保険会社が取扱いをやめる。協会は継続の道を探る。ボランティア保険加盟団体を中心に、森林ボランティア全体のレベルアップ、安全対策の底上げに向け各種講習などの拡充を企画しており、引き続き努力する。

機関紙、ホームページ、SNSなどを使った広報も、方向性に対応出来るよう刷新を進める。

各事業の推進に並行し、事務所の移転問題は期限が迫っており、社会情勢を見ながら適切に対応する。これについても予備費として50万円を計上する。

1. 森林ボランティア養成事業

森林・林業体験セミナーを開催する。

呼子森林セミナー（春、秋）の実施

各種研修会の実施

2. 森林ボランティア指導者養成事業

(1) 森林大学

第39期が4月開講。大阪市内で講座、大阪近郊の森林で実習をし、森林ボランティアリーダーの養成を目的に、理論と実践を体験できる内容を目指す。

(2) 各種講習会などの開催・他団体との体験共有

会員のスキルアップに加え、他団体へ参加を呼びかけ、森林ボランティア団体、ボランティア保険加盟団体はじめ森づくり作業に関わる人全体の安全意識向上に協力する。

・会員向け安全講習会

活動地ごとの基礎コースは、年間計画の中で企画・スケジュールを決め、関心を持った会員が参加できるようにする。

・他団体へ参加呼びかけ

危険予知講習（従来の安全講習・習熟コース、8月末に1泊2日で実施予定）や現場の救急法講習（25年度は南山城活動地で実施予定）は、他団体へも参加を呼びかけ、安全対策の意識共有、知識・体験の共有の場とする。

・動力機械などの研修会を増やす

刈り払い機、チェーンソーなどの特別教育講習は主催だけでなく開催支援などのできる限り協力する。森林作業に関わる人全体の安全教育のレベルアップを図る。

(3) 森林保全、生物多様性などに関する会員の知見を広め、全体の意識を高めるため先進的な取り組みをしている森林等の見学会などを開催する。

3. 森林の保全と育林事業

協会会員および一般参加者で、森林保全活動を実施する。

主催活動

(1) 箕面国有林 (2) 金剛山 (3) 能勢の森 (4) 九度山 (5) 吉川の里
(6) 高槻美女山 (7) 篠山丸山 (8) 村屋神社 (9) 家具工場の森

* 葛木御歳神社は定例活動を終了

協働活動

(1) 南山城村 (2) いずみの森

* これ以外に短期の森づくり支援事業も増やしていく。

4. 作業請負および受託事業

無理のない範囲で受託事業に取り組む。財政基盤の安定を図るとともに、協会会員のスキルアップの場所を設ける。そのために必要な保険システムを検討する。

5. 森林ボランティアに関わる情報提供の事業

機関紙を年4回発行し、会員や一般の人々に森林・林業や森林ボランティア活動に関わる情報を提供する。ホームページや公式SNS（フェイスブック、インスタグラム）を随時更新。会員だけでなく森林ボランティア、森づくりに関心を持つすべての人に向け注意喚起、情報発信ができる方法を考えていく。

6. 森林保全に関わる団体等の協力支援事業

森林ボランティア団体等に、森林ボランティア保険を紹介する。同時に事故情報などを提供し、安全対意識の向上を図る。近隣の団体には技術講習などの参加も呼び掛ける。

協会のボランティア保険が継続できない場合は、加盟団体が別の保険に乗り換えるよう協力する。

7. 協会運営

情報の交換・共有を目的に、月1回程度で打ち合わせ会を開催する。

リモート会議システムも活用し、会員が情報共有できる仕組みづくりを進め、その時点の合意形成は会員全体が閲覧できる方法を検討する。

8. その他

森づくりと協会の基盤強化に貢献し得る新規事業を開拓する。

今後の運営継続に必要な後継者の育成に努める。

他団体との交流を推進する。

30周年の記念事業は準備委員会をつくり検討する。

2025年度収支予算計算書

2025年4月1日～2026年3月31日

特定非営利活動法人 日本森林ボランティア協会

(単位:円)

科 目	25 年度予算額	前年度決算額	差 異	備 考
I 事業活動収入				
1 会費収入	1,050,000	912,500		
正会員	750,000	616,500		
賛助会員	300,000	296,000		
2 事業収入	4,180,000	4,132,896		
ボランティア養成	250,000	172,600		
指導者養成	870,000	744,400		
森林保全	30,000	10,000		
協力支援	30,000	26,000		
受託事業	3,000,000	3,178,474		
木材販売	0	1,422		
3 助成金収入				
助成金	50,000	50,000		
4 補助金収入	0	0		
5 寄付金収入	800,000	550,268		
6 雑収入	1,000	1,756		
雑 入	0	0		
受取利息	1,000	1,756		
当期収入合計A	6,081,000	5,647,420		
前期繰越収入	3,974,420	3,974,863		
収入合計B	10,055,420	9,622,283		
II 事業活動支出				
1 事業費	2,920,000	3,245,316		
ボランティア養成	200,000	128,257		
指導者養成	800,000	930,830		
保全・育林	100,000	5,280		
情報提供	10,000	0		
協力支援	10,000	0		
受託事業	1,800,000	2,180,949		

2 管理費	2,835,000	2,445,488	
給与	0	0	
法定福利費	0	0	
旅費交通費	500,000	464,260	
通信運搬費	300,000	326,960	
什器備品費	100,000	0	
消耗品費	350,000	138,161	
新聞図書費	100,000	0	
印刷費	70,000	150,059	
賃借料	80,000	20,200	
地代家賃	1,055,000	1,062,600	
保険料	100,000	121,454	
租税公課	80,000	70,000	
支払手数料	50,000	61,794	
寄付金	0	0	
雑費	50,000	30,000	
3 予備費	1,000,000	0	
当期支出合計C	6,755,000	5,690,804	
当期収支差額 A－C	▲ 674,000	▲ 43,384	
次期繰越収支差額B－C	3,300,420	3,931,479	

役員改選の件

第4号議案

特定非営利活動法人
日本森林ボランティア協会
2025年4月現在

役員候補一覧

	役職名	氏名	任期
継続	理事長	山崎 春人	1年
継続	理事	山本 博	1年
継続	理事	筈 智子	1年
再任	理事	入江 伸子	2年
再任	理事	淵上 芳孝	2年
再任	理事	小橋 宏充	2年
再任	理事	松下 洋一	2年
再任	理事	清水 宏志	2年
継続	理事	戸田 幸司	1年
継続	理事	浅沼 由紀	1年
継続	理事	前田 昌利	1年
継続	理事	仲野 久美	1年
新任	理事	平田 直毅	2年
新任	理事	大北 昌彦	2年
新任	理事	川田 隆昭	2年
継続	監事	杉本 哲朗	1年
継続	監事	滝口 敏行	1年

* 久保英男理事は退任

別紙追加資料

追加議案

定款の変更

年内に事務所の引っ越しが予定されており、定款上の所在地を次の通り変更する。

現状

「(事務所) 第2条 本会は、事務所を 大阪市北区茶屋町2番30号に置く。」

変更後

「(事務所) 第2条 本会は事務所を大阪市内に置く。」

2025年度事業計画の補足

短期計画とその後の中長期計画の提案内容

【短期(2025年度)】

事務所移転先の決定と引っ越し(予算は予備費として計上)

活動案内パンフレットの作成とそれに使う新しいロゴなどの決定

ホームページリニューアルの計画決定と委託契約

財務処理の外注契約

助成金申請などの準備

30周年記念事業の準備委員会設立

【中期(2027年度までの3年間)】

機関紙、ちらし、総会資料・案内などの原則電子化

ホームページの移行

助成金申請などで財政基盤を強化。有償職員の雇用

保険加盟団体、周辺の森林ボランティア団体へ向けた安全講習支援の確立。森づくり安全技術技能大

阪地域協議会との整理

財務会計処理の外部委託スタート

森林大学の見直し。運営の黒字化

30周年記念事業(27年)

【長期計画(2030年度までの5年間)】

有償雇用職員を中心にした事務局態勢の見直し

次期中長期計画の策定

(了)